

一般財団法人 日本水路協会認定

水路測量技術検定試験

# 受験手続の手引き

## 1. 受験願書類記入の一般的注意事項

- (1) 水路測量技術検定試験案内を熟読の上、記入してください。
- (2) 記入にはペン又はボールペンを用い、文字は楷書、数字は算用数字1, 2, 3, …で、わかり易く記入してください。
- (3) 該当する項目の□の中にはV印を記入してください。
- (4) ※記のある欄には記入しないこと。
- (5) 水路測量に関する実務経歴は記入例を参照してください。

## 2. 受験願書の記入要領

- (1) 「初回受験者」とは、次の場合です。
  - ・各級のいずれかを初めて受験する場合
  - ・ある級の有資格者で、他の級を受験する場合
  - ・ある級の1次試験の全科目に合格した者で、それより下位の級を1次免除で受験する場合
  - ・前回までの試験において不合格科目を有する者が、下位の級に切り替えて1次試験又は2次試験を受験する場合
- (2) 「2回目以降受験者」とは、次の場合です。
  - ・前回までの試験において不合格科目を有する者が、その科目を再度受験する場合
  - ・初回の試験において、欠席した者が再度受験する場合
- (3) 2回目以降受験者又は下位の級に切り替えた受験者は、前回受験した年度を記入すること。
- (4) 試験の種類及び志望の級は、それぞれ一つだけ選択すること。
- (5) 氏名、連絡先（送付先）、勤務先に振り仮名を付けること。
- (8) 勤務先(または連絡先)のメールアドレスを記入のこと。
- (9) 勤務先は会社名（支店名及び部署名等を含む）とその所在地、郵便番号及び電話番号を記入すること。
- (10) 測量士又は測量士補の資格を有する者は、基準点測量の免除申請欄の□の中にV印を記入すること。ただし、1級受験者は測量士の場合のみ記入すること。
- (11) 資格は該当する項目の□の中にV印を記入し、登録番号及び登録年月を記入すること。
- (12) 沿岸1級及び港湾1級の1次試験受験の場合は該当する項目の□の中にV印を記入すること。

- (13) 1次試験免除申請欄の記入にあたっては、試験案内の6. 1次試験の免除(2), (3), (4)及び(5)を参照のこと。研修の修了年度を記入すること。
- (14) 受験料欄には、該当する級の受験料の額を記入すること。2回目以降受験者は、該当する級の受験科目数とそれに応じた受験料の額を記入すること。
- (15) 水路測量に関する実務経歴は、新しいものから具体的に記入すること(記入例参照)。記入欄が不足するときは、用紙を継ぎ足して記入すること。ただし、実務経験を免除条件としない場合には、記入する必要はありません。
- (イ) 水路測量とは、水域の測量及びこれに伴う土地の測量をいい、水路測量の種類には、
- ①基準点測量、②海岸線測量、③潮汐観測、④水深測量(海上位置を含む)
- ⑤海底地質調査がある。
- (ロ) 水路測量に関する実務経験年数とは、上記の①から⑤までの水路測量の種類それぞれについて通算した経験年数の合計をいう。ただし、各級の試験科目にないものは除く。
- (16) 従事した主要水路測量欄は、「水路測量に関する実務経歴」欄の番号と対応させること。作業の名称は、契約上の名称を原則とし、「沿岸の測量」と「港湾の測量」の別を、「審査基準」をよく読んで、**沿**及び**港**で区別すること。(記入例参照)
- (17) 2回目以降受験者は受験を申請する科目の、記入欄に○印(黒色)を記入すること。
- (18) 下位の級に切り替えて受験する者は、2回目以降受験科目申請欄中に新に受験する級の受験科目に○印(黒色)を記入するとともに、前回までに受験した上位の級の合格科目を赤色の○印で記入すること。
- (19) 1次試験免除申請者中、実務経験が免除条件になっている者はその所属する事業所及び代表者の捺印をして証明すること。
- (20) 写真は、最近6ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面の写真で、大きさは3.5cm×4.5cmであること。裏面に氏名及び撮影年月日を記載して、のりで貼り付けること。

### 3. 受験願書へ添付すべき書類

- (1) 1次試験免除申請者で、測量士又は測量士補が免除条件になっている受験者は、それらの登録通知書の写しを添付すること。
- (2) 所属した事業所が現存しないとき、又は事業所に所属しないときは、記載事項が真実である旨の申請者の誓約書を添付すること。
- (3) 誓約書は、当協会の所定の様式を使用すること。

#### 4. 受験願書類の提出部数

	項目	部数	備考
1	受験願書 1/2	1	必須
2	受験願書 2/2	1	2回目以降受験する場合
			沿岸1級、港湾1級の1次を申請する場合
			実務経歴で1次免除を申請する場合
3	別紙	1	実務経歴で1次免除を申請する場合
4	誓約書	1	実務経歴で1次免除を申請する場合に所属した事業所が現存しないとき、又は事業所に所属しない場合
5	測量士の登録通知、 測量士登録通知書 測量士登録証明書の いずれかの写し	1	1級又は2級の受験者で基準点測量の免除申請をする場合
6	測量士補の登録通知、測 量士登録通知書 測量士登録証明書の いずれかの写し	1	2級の受験者で基準点測量の免除申請をする場合

#### 5. 提出先

受験願書は必要な書類、写真を添付して下記あてに送付するとともに、E-mailにて送付した旨の連絡をして下さい。

住 所： 〒144-0041 東京都大田区羽田空港 1-6-6 第一綜合ビル 6F  
一般財団法人 日本水路協会 技術指導部

E-mail：[gijutsu@jha.jp](mailto:gijutsu@jha.jp) 電話：03-5708-7076

(実務経歴欄及び従事した主要水路測量欄記入例)

水路測量に関する実務経歴		実務経験を免除条件とする者は、下欄に記入し事業所代表者の証明を受けること。証明の得られない場合は別紙誓約書を添付すること。							
番号	事業所				実務経歴年数			証明区分	
	名称	所属部課	所在地	所属期間	従事比率	年	月	証明書	誓約書
1	日本水路測量(株)	技術部 測量課	東京都大田区羽田 1-12-6	23年3月 元年4月	70%	15	5	○	
2	(株)近畿 港湾調査	海洋調査部 技術課	神戸市生田区小津 1-5	元年3月 58年4月	70%	4	2		○
3	〃	〃 調査課	〃	58年3月 54年4月	70%	2	10		○
4				年 月 年 月	%				
5				年 月 年 月	%				
実務経歴年数合計 22年 5 か月								この欄に○印を付けて区分すること。	
事した主要水路測量 (上記の実務経歴について、それぞれの番号に対応させて記入のこと。)									
番号	㊸ 又は ㊹	作業の名称	水路測量の種類					作業期間	
			①	②	③	④	⑤	年	月
1	㊹	横須賀港深淺測量	○		○	○			2.5
1	㊸	沿岸海の基本図測量「高知」	○	○	○	○	○		9.0
2	㊸	大阪湾物理探査				○	○		3.5
1. 水路測量の種類は、① 基準点測量、② 海岸線測量、③ 潮汐観測、④ 水深測量(海上測位を含む) ⑤ 海底地質調査である。 2. 番号は、「水路測量に関する実務経歴」欄の番号と対応させること。 3. 従事した水路測量の種類が該当欄に○印を記入のこと。 4. 作業の名称には、㊸又は㊹で「沿岸の測量」と「港湾の測量」の区別を付けること。(審査基準参照)									

- \* 沿岸1級及び港湾1級を1次試験から受験の場合は実務経歴5年が必要です。
- \* 実務経歴年数により1次試験の免除の申請をされる場合は、事前にご連絡ください。  
一般財団法人日本水路協会 技術指導部 電話：03-5708-7076
- \* 実務経歴年数の従事比率は、通常71%以下となります。  
(1年間の労働日数を260日として、260日/365日=0.71)
- \* 受験願書類は、受付締切日までに当協会必着のこと。
- \* 受験料は、検定試験案内の別表2のとおりです。
- \* 受験料の振込みがない場合、受験はできない場合があります。

一般財団法人 日本水路協会認定  
水路測量技術検定試験

# 受験願書

平成 30 年度

<input type="checkbox"/> 初回受験者	<input type="checkbox"/> 2回目以降受験者	前回受験年度	年度
--------------------------------	-----------------------------------	--------	----

試験の種類	<input type="checkbox"/> 一次	<input type="checkbox"/> 二次
-------	-----------------------------	-----------------------------

志望の級	<input type="checkbox"/> 沿岸 1 級	※ 受験番号
	<input type="checkbox"/> 沿岸 2 級	
	<input type="checkbox"/> 港湾 1 級	
	<input type="checkbox"/> 港湾 2 級	

写 真

- 最近6カ月以内に撮影した上半身・脱帽・正面の写真
- 大きさ3.5cm×4.5cm
- 裏面に氏名・生年月日及び撮影年月日を記載のこと
- のりで貼りつけること

フリガナ氏名		性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
		S・H	年 月 日生
フリガナ連絡先(送付先)	〒	電話	
		メールアドレス	
フリガナ勤務先	フリガナ名称		
	〒	電話	

沿岸1級及び港湾1級の一次試験受験の場合(該当の□にレ印を記入のこと。)

沿岸の測量実務5年以上       港湾の測量実務5年以上

基準点測量免除申請  (免除を申請する者は測量士(補)登録通知の写を添付のこと。)

資格	<input type="checkbox"/> 測量士	登録番号	登録年月
	<input type="checkbox"/> 測量士補		

1次試験免除申請      1次試験免除申請者は該当の□にレ印を記入のこと。  
検定試験案内6. 1次試験の免除(2)~(5)を参照      ※検印

<p>(沿岸1級)</p> <input type="checkbox"/> 沿岸の測量実務15年以上 <input type="checkbox"/> 平成 年度1級研修沿岸級修了 <input type="checkbox"/> 沿岸2級合格後沿岸の測量実務7年以上 <input type="checkbox"/> 本科海洋科学課程卒業し、沿岸2級合格かつ沿岸の測量実務6年以上	<p>(港湾1級)</p> <input type="checkbox"/> 港湾の測量実務12年以上 <input type="checkbox"/> 平成 年度1級研修港湾級修了 <input type="checkbox"/> 沿岸2級合格後港湾の測量実務5年以上 <input type="checkbox"/> 港湾2級合格後港湾の測量実務6年以上 <input type="checkbox"/> 沿岸1級の1次合格者又は免除者
<p>(沿岸2級)</p> <input type="checkbox"/> 沿岸の測量実務8年以上 <input type="checkbox"/> 平成 年度2級研修沿岸級修了 <input type="checkbox"/> 沿岸1級の1次合格又は免除者 <input type="checkbox"/> 本科海洋科学課程卒業	<p>(港湾2級)</p> <input type="checkbox"/> 港湾の測量実務6年以上 <input type="checkbox"/> 平成 年度2級研修港湾級修了 <input type="checkbox"/> 港湾1級の1次合格又は免除者 <input type="checkbox"/> 沿岸2級の1次合格又は免除者

初回受験料	円	2回目以降受験科目数		受験料	円	検定試験案内別表2を参照
-------	---	------------	--	-----	---	--------------

**2回目以降受験科目申請** (該当科目の記入欄に○印を記入のこと。) 下位の級に切り替えた者は、前回受験した上位の級の欄に、合格科目も記入(赤色)すること。

沿岸 1 級	記入欄	沿岸 2 級	記入欄	港湾 1 級	記入欄	港湾 2 級	記入欄
法 規		基準点測量		法 規		基準点測量	
基準点測量		水深測量		基準点測量		水深測量	
水深測量		潮汐観測		水深測量		潮汐観測	
潮汐観測		海底地質調査		潮汐観測			
海底地質調査							

**水路測量に関する実務経歴**

実務経験を免除条件とする者は、下欄に記入し事業所代表者の証明を受けること。証明の得られない場合は別紙誓約書を添付すること。

番号	事業所				実務経験年数			証明区分	
	名称	所属部課	所在地	所属期間	従事比率	年	月	証明書	誓約書
1				年 月 年 月	%				
2				年 月 年 月	%				
3				年 月 年 月	%				
4				年 月 年 月	%				
5				年 月 年 月	%				
6				年 月 年 月	%				
7				年 月 年 月	%				
8				年 月 年 月	%				

実務経験年数合計 年 か月

この欄に○印を付けて区分すること。

**従事した主要水路測量**

上記の実務経歴について、それぞれの番号に対応させて、別紙「従事した主要水路測量」に記入のこと。

上記のとおり相違ないことを証明する。

年 月 日

所在地

事務所名

代表者

印

「受験手続の手引」をよく読んで、間違いのないように記入すること。記入欄が不足するときは、用紙を継ぎ足して記入すること。



# 誓 約 書

水路測量に関する実務の経歴（証明のないもの）の記載は  
真実であることを誓約します

平成 年 月 日

住 所

氏 名

印

(自署)

一般財団法人 日本水路協会

会 長 殿

# 水路測量技術検定試験

## 2級検定試験 沿岸2級・港湾2級

- ◆ 受験資格 どなたでも受験ができます。
- ◆ 試験期日 平成30年6月2日(土)  
1次試験(筆記)・2次試験(口述)
- ◆ 受験願書受付 平成30年3月12日(月)～4月25日(水)
- ◆ 試験会場 (一財)日本水路協会

## 1級検定試験 沿岸1級・港湾1級

- ◆ 受験資格 測量実務経歴5年以上が必要です。
- ◆ 試験期日 平成30年7月7日(土)  
1次試験(筆記)・2次試験(口述)
- ◆ 受験願書受付 平成30年4月9日(月)～5月30日(水)
- ◆ 試験会場 (一財)日本水路協会

【参考テキスト】 水路測量 第1巻、水路測量 第2巻、水路測量 第3巻  
水路測量関係規則集

※平成30年度水路測量技術研修受講者の方の受験願書受付期間につきましては  
研修修了後に受付開始を致します。

※詳細は当協会ホームページ、<https://www.jha.or.jp/> の



海洋調査技術者の養成・検定 をご覧下さい。

## 【お問い合わせ先】

(一財)日本水路協会 技術指導部

〒144-0041

東京都大田区羽田空港1-6-6

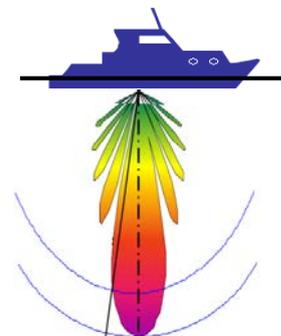
第一総合ビル6F

(東京モノレール：整備場駅下車徒歩1分)

T E L . 03-5708-7076

F A X . 03-5708-7075

E-mail. [gijutsu@jha.jp](mailto:gijutsu@jha.jp)



# 試験会場案内図

住所 東京都大田区羽田空港 1丁目 6番 6号  
第一総合ビル 6階

一般財団法人 日本水路協会 技術指導部

TEL 03-5708-7076



## ◆アクセス方法

### 【東京モノレール】

- ・JR浜松町駅方面から東京モノレール線「浜松町駅」から普通で16分  
整備場駅下車、徒歩1分 (快速は停車しませんので普通をご利用ください)

### 【京浜急行空港線】

- ・天空橋駅下車、徒歩10分 (エアポート快特以外をご利用ください)